

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H.28.3.4

No.36

ショコラン朝会

3月1日(火)に「ショコラン朝会」が行われました。「ショコラン」とは、アラビア語で「ありがとう」という意味の言葉です。1年間、お世話になったエジプト人スタッフのみなさんに、全校で感謝の意を伝えました。

カイロ日本人学校のエジプト人スタッフの仕事は多岐にわたり、本当にたくさんの方が働いています。仕事内容と人数を右にまとめました。このように書くと、本当にたくさんの方のエジプト人スタッフに支えられて学校が成り立っていることがよくわかります。日本人の教職員は10人です。

学校警備員は24時間必ず学校にいます。休みの日でも荷物の受け取りや来客の対応をするだけでなく、学校周辺で起こった危険なできごとなども伝えてくれます。学校周辺はムスリム同胞団(反政府派)の支持者が多く集まっている地区で、警察官との銃撃事件もたびたび起こっています。

清掃員の方は朝6時30分頃に学校に来て、中庭や廊下や階段

- 事務：1人(日本語が話せる)
- アラビア語・英語講師：1人
- 通訳・事務：1人
- 用務員：1人
- スクールバスドライバー：3人
- 職員送迎バスドライバー：1人
- スクールバス添乗員：3人
- スクールバス警備員：3人
- 学校警備員(門番)：4人
- 清掃員：4人



を清掃していただきます。児童生徒も日本の学校と同じように清掃をしますが、現在25人と少ないので手が回らないのと、エジプトは砂埃がとても多いので清掃が大変なため、エジプト人スタッフにお願いしています。

カイロ日本人学校は、日本人が

住んでいる地区から約20km程度離れているため、スクールバスで登下校しています。スクールバスには、教員は乗りません。児童生徒は、自宅前で保護者に引き渡すため、自宅に到着する直前にエジプト人の**添乗員**が一軒一軒電話を掛けます。つまり、ある程度の日本語が話せます。また、カイロは混雑が激しいため、遅れる連絡をしたりルートを変更したりする判断をします。

言葉や習慣、安全に対する考え方が大きく異なる日本人と働くことは、本当に大変なことだと思います。その違いを理解

し学校のために働いてくださっているエジプト人スタッフに対し、感謝の気持ちを常にもってたいです。同時に、日本の安全性の高さを改めて痛感しました。



スクールバスのドライバーさん



スクールバスの添乗員さん